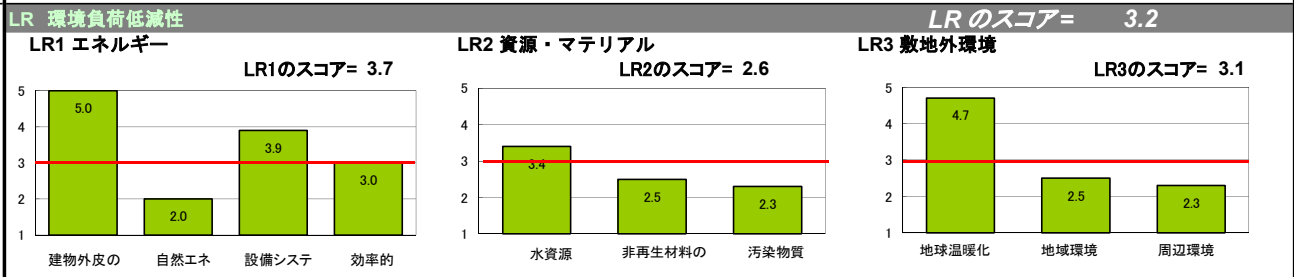
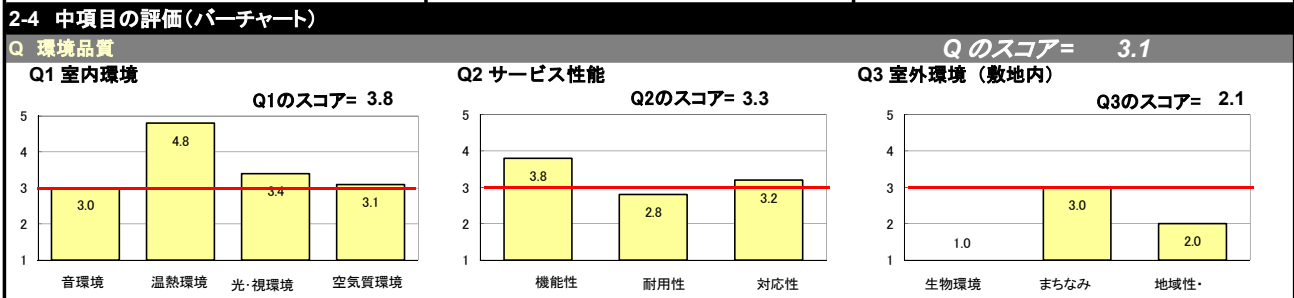
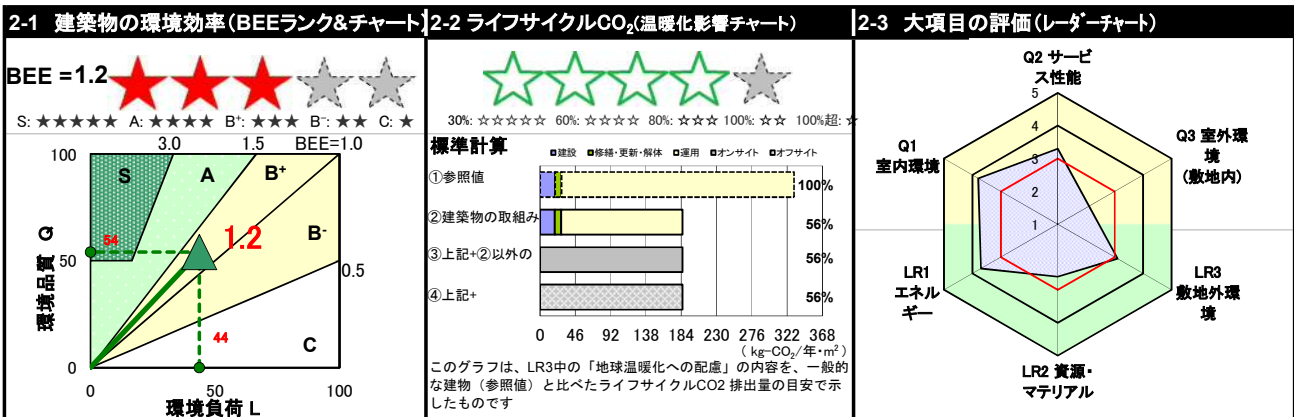




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリアホームズ琴似1-3	階数	地上14F
建設地	札幌市西区琴似1条3丁目10	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	156 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年3月7日
敷地面積	1,039 m ²	作成者	中田
建築面積	425 m ²	確認日	
延床面積	4,996 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 幹線道路に隣接しているものの、共同住宅や戸建てが並ぶ住宅街であることから、緑化面積を多く確保し、街区を形成した。 ゴミ置場は建物内部に、ボイラー置場は道路から離して配置することで、景観に配慮した。		A 省エネルギー 性能評価4等級を確保し省エネルギーに配慮し、給水器具は節水可能な機器を選定した。
B 省資源等 できる限りの再生可能な建材を選定した。	C 緑化 現状変更行為(緑化申請)の要求面積以上の緑化率とした。	D 雪処理 敷地内の駐車場や歩行範囲のロードヒーティングを完備し、敷地外への雪害の対策をとった。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)クリアホームズ琴似1-3

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
実施設計段階		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質															
Q1 室内環境															
1 音環境															
1.1 騒音															
1.2 遮音															
1 開口部遮音性能															
2 界壁遮音性能															
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															
1.3 吸音															
2 温熱環境															
2.1 室温制御															
1 室温															
2 外皮性能															
3 ゾーン別制御性															
2.2 湿度制御															
2.3 空調方式															
3 光・視環境															
3.1 昼光利用															
1 昼光率															
2 方位別開口															
3 昼光利用設備															
3.2 グレア対策															
1 昼光制御															
3.3 照度															
3.4 照明制御															
4 空気環境															
4.1 発生源対策															
1 化学汚染物質															
4.2 換気															
1 換気量															
2 自然換気性能															
3 取り入れ外気への配慮															
4.3 運用管理															
1 CO ₂ の監視															
2 喫煙の制御															
Q2 サービス性能															
1 機能性															
1.1 機能性・使いやすさ															
1 広さ・収納性															
2 高度情報通信設備対応															
3 バリアフリー計画															
1.2 心理性・快適性															
1 広さ感・景観															
2 リフレッシュスペース															
3 内装計画															
1.3 維持管理															
1 維持管理に配慮した設計															
2 維持管理用機能の確保															
2 耐用性・信頼性															
2.1 耐震・免震															
1 耐震性															
2 免震・制振性能															
2.2 部品・部材の耐用年数															
1 躯体材料の耐用年数															
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
4 空調換気ダクトの更新必要間隔															
5 空調・給排水配管の更新必要間隔															
6 主要設備機器の更新必要間隔															
2.4 信頼性															
1 空調・換気設備															
2 給排水・衛生設備															
3 電気設備															
4 機械・配管支持方法															
5 通信・情報設備															
3 対応性・更新性															
3.1 空間のゆとり															
1 階高のゆとり															
2 空間の形状・自由さ															
3.2 荷重のゆとり															
3.3 設備の更新性															
1 空調配管の更新性															
2 給排水管の更新性															
3 電気配線の更新性															
4 通信配線の更新性															
5 設備機器の更新性															
6 バックアップスペースの確保															

CASBEE_Sapporo2014v1.2 (仮称)クリアホームズ琴似1-3		重点評価項目				A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理		
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体				
配慮項目	A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q3 室外環境(敷地内)														
1 生物環境の保全と創出			C							1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C							3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮										2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D						3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C							1.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性														
LR1 エネルギー														
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				性能評価温熱4等級確保					5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用	A									2.0	0.10			2.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 住宅(専有部) 1.01					3.9	0.50			3.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A									3.9	1.00			
集合住宅の評価(3c)	A				評価内容による					3.0	0.20			3.0
4 効率的運用														
集合住宅以外の評価														
4.1 モニタリング	A													
4.2 運用管理体制	A													
集合住宅の評価										3.0	1.00			
4.1 モニタリング	A									3.0	0.50			
4.2 運用管理体制	A									3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル														
1 水資源保護														
1.1 節水					節水器具使用					3.4	0.20			3.4
1.2 雨水利用・雑排水等の利用										3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無										3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無										3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減										2.5	0.60			2.5
2.1 材料使用量の削減		B								2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B								3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B								3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B								1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B								3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B								3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避										2.3	0.20			2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用										3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避										2.0	0.70			
1 消火剤		B												
2 発泡剤(断熱材等)		B								2.0	1.00			
3 冷媒		B												
LR3 敷地外環境														
1 地球温暖化への配慮		B			評価内容による					4.7	0.33			4.7
2 地域環境への配慮										2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止		B								3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D						2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制										3.2	0.25			
1 雨水排水負荷低減		B								2.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制										3.0	0.25			
3 交通負荷抑制					自転車置場、駐車場、バイク置場の確保					5.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D						3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮										2.3	0.33			2.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止										3.0	0.40			
1 騒音										3.0	0.33			
2 振動										3.0	0.33			
3 悪臭										3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制										1.6	0.40			
1 風害の抑制										1.0	0.70			
2 砂塵の抑制														
3 日照阻害の抑制										3.0	0.30			
3.3 光害の抑制										2.3	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策										2.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(クリア)への対策										3.0	0.30			

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.2	BEEランク	B ⁺
建物名称	(仮称)クリアホームズ琴似1-3	総合評価		★★★★☆	
建物用途	集合住宅				
延床面積	4,995.73 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー		合計 21点 / 24点			
Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 6.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.0		
B 省資源等		合計 14点 / 23点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
C 緑化		合計 6点 / 16点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0				
D 雪処理		合計 2点 / 3点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
性能評価4等級を確保し省エネルギーに配慮し、給水器具は節水可能な機器を選定した。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
できる限りの再生可能な建材を選定した。	現状変更行為(緑化申請)の要求面積以上の緑化率とした。	敷地内の駐車場や歩行範囲のロードヒーティングを完備し、敷地外への雪害の対策をとった。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される